



～ 養殖マグロ生産量 増加 ～

地中海の主な産地

1. スペイン
2. トルコ
3. マルタ
4. クロアチア
5. イタリア
6. チュニジア



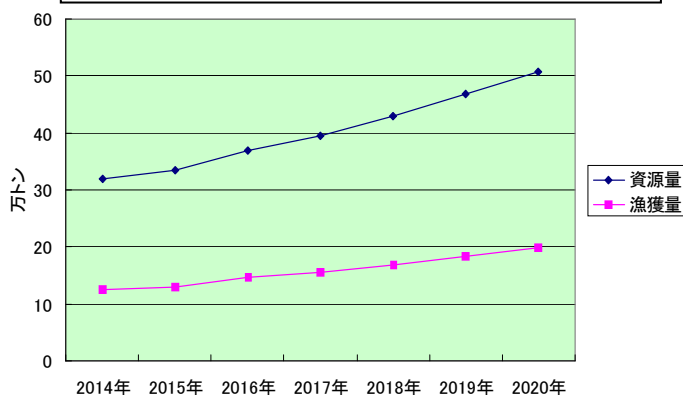
●2015 年度 世界の養殖マグロの生産量は 5 年連続で前年度を上回るようです。大西洋クロマグロの資源回復が見られることから地中海沿岸各国の生産量は30%増となります。規制を強めた2011年との比較では倍近い生産量になっています。一方でメキシコが減少、日本、豪州は横ばいですが、今後は太平洋エリアの減少が続きそうです。相場は、日本の養殖マグロ市場は飽和状態で生産者は活路開拓に他国へ販売を進める可能性があり、需要が高まれば日本の価格決定力は他の魚種同様に落ち、『買い負け』状態になる可能性もあるということです。資源管理を考慮しながら様子見状態です。

～ ブリ 資源増加傾向 ～

●ブリの漁獲量が伸びています。他種で資源悪化などが目立っている中、ブリは今後とも資源量が増加し、マグロやイワシ、スルメイカなどの主力魚種と同じレベルになります。研究機関のシュミレーションでは2020年資源量は現在の1.5倍強になるとの見方です。この背景には海水温の上昇による生息域の拡大や幼魚の生残率向上につながっている可能性があるとのこと。ブリの資源量が増加することは喜ばしい話ですが同時に気候変動による生態系が変化しているということはなんとも皮肉なことです。



ブリの資源量と漁獲量のシュミレーション



入荷状況 & 商品情報

10月

- 甘エビ
- ブリ (ガンド)
- ガスエビ
- ササカレイ
- メギス
- ミズウオ
- アマダイ
- メッキダイ
- ノドグロ
- ベニズワイガニ



底引網漁が解禁でまずまずの入荷状況です。**アマエビ**は潤沢に入荷しています。**ガスエビ**、**ハタハタ**、**メギス**、**カレイ類**も入荷していますが、型は小さ目。型も脂のノリもこれからです。**アカガレイ**は入荷自体少な目です。**ノドグロ**の入荷がまとまっています。脂のノリもよさそうです。**アジ**、**サバ**は潤沢に入荷しています。**アカイカ**は地物の入荷がありますが型は小さ目。これからです。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。